

## 会 議 録

会議の名称	平成 27 年度 第 9 回 栃木中央地域会議
開催日時	平成 28 年 2 月 26 日 (木) 18 時 30 分開会～19 時 32 分閉会
開催場所	栃木市役所本庁舎 3 階 正庁
出席者及び欠席者氏名	別記 1 のとおり
事務局職員職氏名	別記 1 のとおり
その他出席者等	別記 1 のとおり
会議事項	別記 2 のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	1 人
その他必要事項	なし
会議の経過 (議事の要旨)	別記 3 のとおり

-----

## 別記1 出席者及び事務局

### ○出席者（委員）

会 長 佐山 正樹	委 員 大浦 兼政
委 員 鬼塚 修	委 員 木村 隆夫
委 員 杉山 栄	委 員 下田 明範
委 員 鈴木 林彌	委 員 高瀬 淳
委 員 中尾 秀美	委 員 町田 爽起夫
委 員 村田 弘子	委 員 山口 真右
委 員 若林 芳明	委 員 渡邊 一浩

### ○欠席者（委員）

副会長 石河 不砂	委 員 青木 良一
委 員 臼井 義雄	委 員 大波 龍郷

### ○事務局

#### 【総合政策部】

天海 俊充（地域まちづくり課長兼栃木中央地域まちづくりセンター所長）  
清水 孝之（地域まちづくり課長補佐）  
野中 聡（地域まちづくり課主査）  
福田 英臣（地域まちづくり課主任）  
山本 晃子（地域まちづくり課主事）

### ○その他出席者

#### 【生活環境部】

若菜 博（斎場整備室長）  
大豆生田 雅志（斎場整備室長補佐）  
栃木 良彦（斎場整備室主任）

## 別記 2 会議事項（議題及び会議結果）

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

佐山会長

### 3 議 事

#### (1) 新斎場建設地の決定について（報告）

担当課より資料に基づき説明。

### 4 その他

#### (1) (仮称) 栃木市文化芸術館・文学館基本構想（素案）に対するパブリックコメントについて（情報提供）

素案に対するご意見がある場合は、パブリックコメントにて提出願います。

#### (2) まちづくり実働組織について

事務局より、他地域の取り組み状況について報告。

各委員の意見を聞き、「栃木中央地域で1つの実働組織を立ち上げるのが望ましい」との意見がまとまった（議事録を参照のこと）。

#### (3) 次回の地域会議について

・次回開催予定 平成 28 年 4 月 28 日（木） 18 時 30 分～

栃木市役所本庁舎 3 階 正庁

※3 月の地域会議は開催しない。

### 5 閉 会

別記 3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
担当課	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p><u>(1) 新斎場建設地の決定について（報告）</u></p> <p>斎場の再整備については平成 24 年度から着手し、基本構想と基本計画を作り上げた後、平成 27 年 6 月に建設候補地の選定を行い、その後 6 か月間、地元の皆様への説明会を開いてきたところです。</p> <p>候補地の選定に当たっては、地元の皆様の感情を第一に優先することを考えておりましたので、会議はすべて非公開とし、議会にも非公開をお願いしてきました。そういう経過もあり、新聞等で新斎場建設地決定の報道に接した際に、唐突に感じられた部分があるかもしれません。基本的に地元の皆様の思いを大切にするという方針の下で進めてまいりましたので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>結果として、地元の皆様全員の賛成は得られていない状況ですが、一定のご理解はいただけたということで、1 月 31 日に正式に建設地を決定いたしました。来年度から具体的な整備に着手するわけですが、その前に、地域会議委員の皆様これまでの経過を報告したいと思います。</p> <p style="text-align: center;"><b>【建設地決定に至るまでの議論の過程や新斎場の概要について説明】</b></p>
佐山会長	<p>ありがとうございました。この件に関して、委員の皆様から何か質問はございますか。</p>
委員	<p>新斎場へは大平のぶどう団地の道を通っていくことになると思いますが、山の上は雪が降ったり、寒い日は路面が凍結して危ないとの話を聞きました。それらの対策は何か取ってあるのですか。</p>
担当課	<p>新斎場を建設する際には各方面との協議を行い、警察とも協議を行います。</p> <p>その中で、雪が降った場合には迂回路を通る等の対策を取りたいと考えておりますが、具体的にはこれから決めてまいります。</p>
委員	<p>今使われている斎場がある地元には、これまで様々な経過がありました。現斎場の跡地の有効な活用方法を検討して地元の方々へ説明していただく等、市には現斎場の跡地についてもしっかりと考えていただきたいと思います。</p>

担当課	<p>その件は先の12月議会でも質問があり、「現斎場の跡地利用については地元の皆様の意見を伺う」と回答いたしました。新斎場が具体的にいつ整備できるか見通せるようになった頃になるかと思いますが、間違いなく対応いたしますので、ご理解をいただきたいと思ひます。</p>
佐山会長	<p>他に質問がなければ以上といたします。      ありがとうございました。担当課の方はご退席ください。      以上で本日の議事は終了しました。</p>
事務局	<p><b>4 その他</b>  <u>(1) (仮称) 栃木市文化芸術館・文学館基本構想(素案)に対するパブリックコメントについて(情報提供)</u></p> <p>「(仮称) 栃木市文化芸術館・文学館」の整備構想は、昨年7月の地域会議『地方都市リノベーション事業について』の中で若干説明をさせていただきました。この度、基本構想の素案が固まったことで、市民の皆様のご意見を反映させるためにパブリックコメントを実施しています。意見書の受付期間はすでに始まっておりますので、配布資料をご確認いただき、何かありましたら担当課までご意見をお寄せください。</p> <p><u>(2) まちづくり実働組織(以下、「実働組織」)について</u></p>
佐山会長	<p>しばらく欠席されていた方は経緯が掴めないところもあるかと思ひますが、事務局の説明後、委員の皆様のご意見を再度伺って、方向性を定めたいと思ひます。</p>
事務局	<p><b>【他地域の実働組織の取り組み状況について説明】</b></p>
委員	<p>これまでの議論を見ても、栃木中央地域での立ち上げが一番難しいのは事務局もわかっているとは思ひますが、実働組織に携われる人も限られてくる状況を考えると、1つで立ち上げるのが一番望ましいと思ひます。</p>
委員	<p>私も中央地域では全体で1つを立ち上げ、その中に部会を作って、地域内の誰もが参加できるような仕組みにしていくのがよいと思ひます。</p>
委員	<p>私も地域全体で1つにしていくのがよいと思ひています。あとは立ち上げた実働組織の中で、目的と地域全体でやるかやらないかを決めてもらえばよいのではないのでしょうか。</p>

委員	<p>実働組織を1つにした場合のメリットとデメリットを検討しなければいけないと思います。特に、各地区にあるコミュニティセンターをどのように活用するかが問題です。</p> <p>また、実働組織には多くの団体が参加すると思いますが、今までは団体ごとに縦の組織で活動していたわけです。それを1つにまとめて立ち上げたほうがいいのか、従来の人間関係や団体関係を重視して立ち上げたほうがいいのか、なかなか決められないところです。</p>
委員	<p>組織づくりの面から言うと、実働組織をバラバラに立ち上げるのは難しいと思います。1つの組織で物事を進めたほうが統一感も出るでしょう。最初のうちはやれることが少ないかもしれませんが、できることを堅実にやっていくことで、実働組織の活動の幅を広げていくことが賢明ではないかと思います。</p>
委員	<p>皆さんが言われた通り、実働組織を1つで立ち上げても、地域の幅広い意見が聞けるわけですから、まずは1つにまとめて始めるべきと考えます。</p>
委員	<p>私も1つで立ち上げるべきと考えます。実働組織には各地区から様々な人材が集まり、いろいろな話を聞くことができるでしょうから、それらに基づいて部会を作って活動すればよいわけです。</p> <p>また、得意技のある自治会や団体等があれば、それをしっかり取り入れて活動すればいいし、1つにまとめたほうが動きも良いように思います。</p>
委員	<p>可能であれば、1つの形で集まれるのに越したことはありません。バラバラに実働組織を立ち上げると、その後でまとめるのは難しいかなと懸念しています。</p> <p>また、人材を集めようとしても、自分たちに身近な事柄でないと会議に出てこないとか、活動に真剣味がなくなってしまうとか、参加する人が毎回同じになってしまうとか、運営していくうえで解決すべき課題はいくつかあると思います。</p>
委員	<p>他の地域も基本は1つにまとまるようですし、栃木中央地域も1つにまとめたほうがよいと思います。</p> <p>様々なアイデアを出し合い、小さな課題でも皆さんで力を合わせて、まとまって取り組んでいくことが大切です。</p>
委員	<p>私も1つの実働組織立ち上げが望ましいと考えます。前回お話のあった宇都宮市の姿川地区の事例が理想的な指針を示しているのではないかと思います。</p>
佐山会長	<p>非常に大変かもしれませんが、1つで立ち上げられると素晴らしいと思います。実働組織には、自治会や各種団体から多くの方が参加されます。今までこのような組織はありませんでしたし、今後はお互いに協力し合える可能性もあるわけで</p>

事務局	<p>す。協力できることとできないことがあるとは思いますが、同じ思いを持った方々が1つの議論に集中できるのは素晴らしいことだと思いますし、それに向けて進んでいくべきではないかと思います。</p> <p>自治会等の従来の地縁団体が地域に根差した縦糸とだとすれば、この実働組織はそれらを結ぶ横糸になり得る組織だと思うので、そういう形でうまく機能を発揮できれば、新たな力が生まれると感じています。</p> <p>今後について、事務局ではどのような見通しを持っているのですか。</p> <p>まず、地域のコミュニティの基盤となっている自治会連合会の会長の皆様に、実働組織の協力依頼をしたいと考えています。その後、地域内の各種団体の代表者に集まっていただき、立ち上げに向けた具体的な議論をしていただきます。</p> <p>ただ、実働組織を立ち上げて、すぐに何かの事業に取りかかるのは難しいと思います。最初のうちは、実働組織として何ができるのか、何をしたいのか等を何度も話し合うことになると思いますので、委員の皆様にも話し合いに加わっていただき、議論をリードしていただきたいと考えています。</p>
佐山会長	<p>実働組織は今までの自治会等とは違う形で、市に対して様々な働きかけができると思います。私たちも中に入って、一緒になって大きな渦を作れば、楽しく面白い栃木市を創っていけるかもしれません。</p>
委員	<p>従来の組織を壊して新しく作るには大変な抵抗と力が要ります。従来の組織は地域の縦串としてきちんと残し、実働組織は地域の横串として、縦串の中で共通で取り組めるものを通すというイメージなのかなと思います。</p> <p>また、地域の課題解決を図るために部会を作ろうとすると、いろいろな利害が絡んで大変です。課題は縦串のほうで解決してもらうことにして、実働組織では「地域みんなで取り組めることは何か」というプラス思考で部会を作れば活動もしやすくなり、理想的な地域づくりができるのではないかと感じています。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。実働組織は来年度中の立ち上げを目指したいと考えており、来年度早々には各種団体の皆様への説明会を開きたいと考えております。委員の皆様にもぜひご参加いただき、アドバイスをいただければと思います。</p> <p><b>(2) 事務連絡</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3月の地域会議は中止とする。</li> <li>・ 次回開催予定 平成28年4月28日(木) 18時30分～ 栃木市役所本庁舎3階 正庁</li> </ul> <p>5 閉会</p>